
4. 被災状況

4.1 被災の概況

4.1.1 文化施設等の被災の概況

2012年3月1日現在の文部科学省の発表資料¹によると、文部科学省関係施設においては、死亡者 644 人と負傷者 241 人の合計 885 人の人的被害が発生しており、行方不明者も 89 名発生している。死亡者の大半及び行方不明者は、激しい揺れと津波に見舞われた岩手・宮城・福島の 3 県に集中し、負傷者は広く 11 都県に及んでいる。人的被害の大半は学校施設関係者（国公立学校）、すなわち児童・生徒、学生、教職員等で、638 人が死亡し 229 人が負傷した。社会教育・体育・文化関係施設（図書館、公民館、体育・スポーツ施設、博物館等）では 4 人が死亡し 11 人が負傷している。

また、同じく文部科学省関係施設における物的被害では、12,150 件の被害が発生している。学校施設が最も多く、国公立あわせて 7,988 校に被害が出た。社会教育・体育・文化施設等では 3,397 件の被害が発生し、そのうち図書館の被害は 251 館とされている²。

4.1.2 図書館の被災の概況

文部科学省の調査において物的被害があったとされている図書館 251 館（公立図書館）について、県別の館数は、表 4-1 のようになる。

表 4-1 物的被害のあった図書館の数

都道府県名	公立社会教育施設、公立社会体育施設、公立文化施設等被害件数	うち図書館	(参考) 「社会教育調査」(平成 20 年度)での図書館数
岩手県	372	16	47
宮城県	654	25	34
福島県	530	21	64
茨城県	521	39	57
栃木県	272	32	47
群馬県	125	4	39
埼玉県	190	23	157
千葉県	224	23	133
東京都	224	46	384
神奈川県	78	10	83
その他	207	12	-
計	3,397	251	-

(出典) 文部科学省「東日本大震災における社会教育施設の被害状況 平成 23 年 10 月 13 日現在」及び文部科学省「社会教育調査」(平成 20 年度)結果を基に作成。

¹ 文部科学省「東日本大震災による被害情報について(第 184 報)」2012.3.1.

² 文部科学省「東日本大震災における社会教育施設の被害状況 平成 23 年 10 月 13 日現在」

冒頭の文部科学省の発表資料では、主な被害状況として「校舎や体育館の倒壊や半焼、津波による流出、水没、浸水、地盤沈下、校舎の段差や亀裂、外壁・天井の落下、外壁亀裂、ガラス破損等」が挙げられているが、図書館施設においてはこのような被害に加え、「図書・資料の落下」や「書架の倒壊」「ガラスケース破損」といった被害が加わるものと推測される。

今回の震災による図書館等各種施設への影響については、次の点に留意する必要がある。

- 3月11日の本震だけでなく、4月7日の余震が図書館の施設や設備、図書資料に大きな被害を与えたこと
- 一般的には、津波による太平洋沿岸部地域の被害が注目されがちであるが、地震によって内陸部における公共施設等の被害も大きかったこと
- 福島県では、住民が居住地に戻れないなど福島第一原子力発電所の事故による影響が今も続いていること
- 震災直後の計画停電以降、現在も節電を余儀なくされているなど、我が国全体に影響を及ぼしていること

なお、この章では、各県の県立図書館がまとめた各図書館の被害状況に関する調査を中心にまとめており、そこには開館状況も含まれる。開館したとしても、時間やサービス内容を限定しての開館や、臨時窓口での対応という場合もあり、「開館」が必ずしも「復旧」を意味するものではないが、復旧の1つの目安と見なすことができる。また、図書館の開館は、地域の図書館として利用者へのサービスをいち早く回復したいという図書館員の復旧への意思とも受け取ることができる。

以下の各節では、特に大きな被害を受けた「岩手」「宮城」「福島」「茨城」「千葉」「その他の地域」における図書館被災状況（人的被害、物的被害）のうち、施設・設備、図書資料等について記述する。

4.2 岩手県

4.2.1 図書館における人的被害

岩手県の図書館における人的被害は 2 館で発生した。陸前高田市立図書館では正職員を含め 7 名全員が行方不明又は死亡、山田町立図書館では正職員 1 名（非番）が死亡した。

4.2.2 図書館における物的被害／施設・設備

(1) 公立図書館

岩手県立図書館の「被害概況」調査³によると、県立図書館以外の県内の公立図書館 57 館（分室や公民館図書室を含む）のうち 28 館は 2011 年 3 月中に開館し、18 館が 4 月に入ってから開館したが、開館時間を短縮しての開館であった館が多い。津波の被害を受けた 4 館は「当分の間休館」又は「再開の目処立たず」となっており、被災の現実が生々しく伝わる言葉が記されている。避難所対応となっていた図書館もいくつかあること、また、4 月 7 日の余震による被害も大きかったことが記されている。

同調査によると、建物については、津波による「壊滅状態」のほか、「ドア破損、ガラス・壁ヒビ」、「壁がはがれる」、「ガラスにひび」、「天井（ボード）一部落下」、「照明器具カバー落下」等が報告されている。公立図書館（分室・公民館を含む）の施設については、全 57 館のうち、津波による全壊・壊滅状態を含め 26 館（約 46%）に被害が出ている。

被害の大きかった公立図書館をまとめると、表 4-2 のようになる。

表 4-2 被害の大きかった公立図書館等（岩手県）

津波で全壊した図書館	陸前高田市立図書館 大槌町立図書館 野田村立図書館 大船渡市立三陸公民館図書室
建物の被害が大きかった図書館	北上市立中央図書館 一関市立一関図書館 平泉町立図書館 など
設備の破損により大量の資料が被災した図書館	釜石市立図書館 奥州市立胆沢図書館 など

（出典）岩手県立図書館『としょかん いわて』No.169, 2011.10, p.5

http://www.library.pref.iwate.jp/riyoannnai/kanpopdf/kanpo169_pdf/kanpo169.pdf

³ 岩手県立図書館「東北地方太平洋沖地震に係る岩手県内公立図書館等の被害概況」（平成 23 年 12 月 25 日現在）<http://www.library.pref.iwate.jp/0311jisin/lib-iwate.html>

(2) 大学図書館

同じ調査による大学図書館の被害状況では、大学及び高等専門学校 11 校の図書館のうち 3 月中に開館した大学が 2 館、4 月が 5 館、5 月 1 館、6 月が 2 館となっている。

被害状況については、11 館のうち 4 館から「建物に亀裂」、「玄関ガラス扉割れる、蛍光管落下」、「天井の一部落下、柱・床にヒビ」等の報告がなされている。

東北地区大学図書館協議会による調査⁴では、もう少し詳しい報告がある。岩手大学情報メディアセンター図書館は「建物内外壁等のヒビ・亀裂、トイレ等の壁面タイルの落下」といった被害を受け、3 月 23 日まで休館し、24 日から部分開放、また岩手県立大学メディアセンターは「柱のひび割れによるコンクリート片の落下、落下防止装置の破損」といった被害を受け、4 月 17 日まで休館し、18 日から部分開放して時間も短縮するといった状況である⁵⁶。

(3) 学校図書館

文部科学省が岩手県・宮城県・福島県の 3 県を対象に調査した「被災地域の学校における授業の実施状況等について」⁷によると、2011 年 10 月時点で、小・中・高校及び特別支援学校 664 校のうち、他校・他施設を使用して授業を実施している学校が 19 校(約 2.9%)、仮設校舎を使用している学校が 5 校(約 0.7%)あり、図書室が使用できないと回答した学校は小・中各 1 校の計 2 校(約 0.3%)となっている。

また、全国学校図書館協議会が被災地の学校に図書寄贈の希望等を調査した「学校図書館 図書希望の調査」⁸の結果では、回答のあった岩手県の学校図書館 30 校のうち、施設・設備の状況について、建替えが必要とした学校が 10 校、損傷・浸水はあったが利用可能とする学校が 4 校あった。

(4) その他の図書館

その他、専門図書館等について、被害状況が分かる資料及び情報は見当たらなかった⁹。

⁴ 東北地区大学図書館協議会「東北地方太平洋沖地震による東北地区大学図書館協議会加盟館の被害状況」(2011.8.12 公表) <http://www.library.tohoku.ac.jp/tohokuchiku/earthquake.pdf> を基に作成。

⁵ 大学図書館の被害については、特に私立大学に関して、被害について明らかになっていない館もある。状況を把握し情報集約・発信にあたる人員の不足や、経営的判断により非公開であるところが多いと考えられる。

⁶ 落下した本の整理、配架等に各大学の学生ボランティアが活躍したことが伝えられている。

⁷ 文部科学省「被災地域の学校における授業の実施状況等について」
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/23/12/_icsFiles/afieldfile/2011/12/21/1314457_1.pdf

⁸ 全国学校図書館協議会震災対応委員会「学校図書館 図書寄贈の希望調査」結果
<http://www.j-sla.or.jp/pdfs/news/sn/shinsai-files/hisaikoutyousa20111030.pdf>

⁹ 専門図書館については、専門図書館協議会関東地区協議会による会員を対象とした調査があるが、東北地方の専門図書館は含まれていない。同調査では、143 館のうち 106 館(74.1%)が「被害あり」と答えている。

専門図書館協議会関東地区協議会「東日本大震災の影響について」
https://www.sentokyo-kanto.org/result/index.php?content_id=1

4.2.3 図書館における物的被害／図書資料等

(1) 公立図書館

前出の岩手県立図書館の調査では、図書資料等の設備については、被害は「なし」とした館は 57 館のうち 8 館（約 14%）のみで、他は程度に差はあるものの、ほとんどの館では「本が落下」し、さらに「書架が倒れる」「ガラスケース破損」「CD・ビデオ落下」といった報告がなされている。

同館の試算によると、津波の被害を受けた 5 館の想定被災図書冊数は約 20 万 6,000 冊以上にのぼり、これは同県全体の蔵書数の約 4.2%に当たるとしている¹⁰。

(2) 大学図書館

同じ調査では、大学図書館 11 館のうち図書資料関係の「被害なし」とした館は 2 館のみで、他はすべて「開架閉架の本が落下」「本落下、書架一部倒れる」「本が 2 分の 1 程度落下」といった報告がなされている。「なし」とした図書館も、本の落下程度を「被害」と見なしていない可能性が考えられる。

東北地区大学図書館協議会による調査では、岩手大学では「7 割程度の図書資料が崩落」「5 階は 4 割程度の書架転倒、キャビネット転倒、机等が移動」「電動書架動作不良」、さらに 4 月 7 日の余震で「1 割程度の図書資料落下」「書架棚板の一部破損」、また岩手県立大学では「書架の転倒、書架を連結しているボルトの緩み」「(本震で) 約 5 割の資料が落下、余震で約 1 割落下」といった、より詳しい被害状況が掲載されている。

(3) 学校図書館

前出の全国学校図書館協議会による調査では、回答のあった 30 校のうち、学校図書館では「利用できる本がない」とする学校が 8 校（約 26.7%）あるとされている。

(4) その他の図書館

その他、専門図書館等について、被害状況が分かる資料及び情報は見当たらなかった。

¹⁰ 岩手県立図書館への聞き取り調査による。

表 4-3 岩手県内の公立図書館等の被害概況

館名	被害状況			開館状況(*)	備考
	人的	建物・設備	図書資料等		
岩手県立図書館	なし	システムダウン、 書架ボルト緩み	図書、ビデオ約 1 割落 下	4/1(金)時短	
盛岡市立図書館	なし	ドア破損、ガラ ス・壁ひび	本少し落下	4/12(火)	
盛岡市都南図書館	なし	なし	ボイラー破損	3/15(火)	
盛岡市洺民図書館	なし	壁がはがれる	本 2 階 8 割、1 階半分 落下	3/19(土)	
八幡平市立図書館	なし	ひび割れ	本 50%落下	3/14(月)	
雫石町立図書館	なし	なし	本少し落下	3/25(金)	
葛巻町公民館図書館	なし	なし	なし	3/14(月)	
岩手町立図書館	なし	なし	本 1 割程度落下	3/15(火)時 短、	4/1(金)通常開館
滝沢村立湖山図書館	なし	なし	本 1/3 程度落下	4/1(金)	
紫波町中央公民館	なし	なし	本 50%落下	3/15(火)	
矢巾町公民館図書室	なし	なし	なし	3/18(金)	
花巻市立花巻図書館	なし	なし	閉架書架倒れ、新聞保 存将棋倒し	4/1(金)	
花巻市立大迫図書館	なし	なし	本 10 冊程度落下	4/1(金)	
花巻市立石鳥谷図書 館	なし	なし	閉架図書 500 冊落下	4/1(金)	
花巻市立東和図書館	なし	亀裂あり、照明器 具カバー落下	本 50%落下	4/1(金)	4/7 の余震によ り書架倒れ、図書 落下
遠野市立図書館	なし	ガラスヒビ	なし	4/1(金)	
遠野市立図書館分館	なし	サーバーダウン	本 300~400 冊落下	4/1(金)	
北上市立中央図書館	なし	天井(ボード)一部 落下、配管水漏れ	書架倒れる	5/13(金)	4/7 の余震によ りさらに壁剥離、 本落下
北上市立江釣子図書 館	なし	なし	本落下	4/7(木)	
北上市立和賀図書館	なし	なし	本落下	4/7(木)	
西和賀町川尻地区公 民館図書館	なし	なし	なし	3/14(月)	
奥州市立水沢図書館	なし	なし	本 1/3 程度落下	3/15(火)時短	
奥州市立江刺図書館	なし	なし	本棚等被害	3/15(火)時短	
奥州市立前沢図書館	なし	一部壁面崩れ	PC 不明、書架転倒、図 書落下 50%	3/15(火)時短	4/7 の余震によ り書架計 22 基倒 れる
奥州市立胆沢図書館	なし	亀裂あり	本落下	3/15(火)時短	4/7 の余震によ り空調配管破裂 等
金ヶ崎町立図書館	なし	なし	図書かなり落下	3/15(火)時短	
一関市立一関図書館	なし	増築及び古い箇所 壊れる	開架 50%・閉架 7~8 割落下、ビデオ類 100%	4/26(火)	4/7 の余震によ りスチーム管破 損等
一関市立花泉図書館	なし	なし	書架倒れる、ガラスケ ース破損	3/26(土)	4/7 の余震によ り書架かなり倒 れる

一関市立大東図書館	なし	一部損傷	図書少し落下	4/1(金)時短	4/7 の余震により本少し落下
一関市立千厩図書館	なし	壁に亀裂、玄関敷石に段差	図書9割落下、CD・ビデオ落下による破損	3/29(火)時短	4/7 の余震により玄関タイル段差等
一関市立東山図書館	なし	多少亀裂	図書ほぼ落下、エアコン破損	3/26(土)時短	4/7 の余震によりエアコン破損等
一関市立室根図書館	なし	扉損傷	図書2割程度落下	4/1(金)時短	4/7 の余震により本2割程度落下
一関市立川崎図書館	なし	なし	図書4割落下	4/3(日)時短	4/7 の余震により本3割程度落下
平泉町立図書館	なし	壁・柱に亀裂	本6~7割落下	4/30(土)時短	
一関市立藤沢図書館	なし	壁の亀裂	図書数カ所で落下	3/22(火)時短	
大船渡市立図書館	なし	なし	図書落下、郷土資料水損	6/4(土)時短	避難所対応
大船渡市立三陸公民館図書室	なし	津波により骨組みしか残らず	全て流失	当分の間休館	
陸前高田市立図書館	全員行方不明又は死亡	壊滅状態	把握不能	再開の目処立たず	行政機能に著しい障害
住田町中央公民館図書室	なし	大きな被害はなし	なし	通常どおり	町で被災者受入
釜石市立図書館	なし	ひび割れ	本5割程度落下、郷土資料汚損のため利用不可	5/24(火)時間変更して開館	
大槌町立図書館	なし	壊滅状態	把握不能	再開の目処立たず	行政機能に著しい障害
宮古市立図書館	なし	一部亀裂	本100冊ほど落下	4/1(金)	
宮古市立図書館田老分室	なし	床上15センチ浸水	水濡れ資料あり	10/4(火)時短	場所変更して開館
宮古市立図書館新里分室	なし	なし	本少し落下	4/1(金)	
宮古市立図書館川井分室	なし	なし	本少し落下	4/1(金)	
山田町立図書館	職員1名死亡	大きな被害はなし	図書約3万冊流失	11/1(火)	避難所対応
岩泉町立図書館	なし	大きな被害はなし	本数十冊落下	3/13(日)	
アズビィ楽習センター図書室	なし	大きな被害はなし	聴取不能	7/26(火)	避難所対応
久慈市立図書館	なし	大きな被害はなし	本棚1基倒れる、貸出資料に被害	3/16(水)	
久慈市立山形図書館	なし	なし	なし	3/16(水)	
普代村図書室	なし	ひび割れ1カ所	本数冊落下	3/12(土)	
洋野町立種市図書館	なし	なし	なし	3/14(月)	
洋野町立大野図書館	なし	ひび割れ	本落下	3/15(火)	
野田村立図書館	なし	壊滅状態	把握不能	再開の目処立たず	

二戸市立図書館	なし	なし	システムダウン、本数 冊落下	3/13(日)	
軽米町立図書館	なし	ガラス1枚	本50～60冊落下	3/15(火)時短	
九戸村立公民館図書 室	なし	なし	本10冊程度落下	3/28(月)	
一戸町立図書館	なし	なし	なし	3/23(水)時短	

(出典) 岩手県立図書館「東北地方太平洋沖地震に係る岩手県内公立図書館等の被害概況(平成23年12月25日現在)」<http://www.library.pref.iwate.jp/0311jisin/lib-iwate.html> を基に作成。岩手県立図書館については岩手県立図書館への聞き取り調査による。

(*)開館状況の「時短」は時間を短縮しての開館。

表 4-4 岩手県内の大学図書館等の被害状況

館名	被害状況			開館状況(*)	備考
	人的	建物・設備	図書資料等		
岩手大学情報メディアセンター図書館	なし	亀裂あり	開架閉架本落下	6/1(水)	
岩手医科大学附属図書館	なし	玄関ガラス扉割れる、蛍光管落下	なし	3/23(水)時短	
岩手県立大学メディアセンター	なし	ヒビ	本落下、書架一部倒れる	5/9(月)	
岩手県立大学宮古短期大学部図書館	なし	大きな被害はなし	本多数落下	4/18(月)	
盛岡大学図書館	なし	なし	なし	4/11(月)	
岩手看護短期大学図書館	なし	なし	本1/2落下	4/1(金)	4/7の余震で本多数落下
富士大学図書館	なし	なし	書架倒れる	4/11(月)時短	4/7の余震で本多数落下
岩手県立農業大学校図書館	なし	なし	本1～2割落下	3/29(火)	
修紅短期大学図書館	なし	なし	本落下	4/18(月)	
一関工業高等専門学校図書館	なし	天井の一部落下、柱・床にヒビ	本7～8割落下	6/20(月)	
北里大学海洋生命科学部図書館	なし	電気がきていないため確認できず	本多数落下	—	施設を5年間使用せず

(出典) 岩手県立図書館「東北地方太平洋沖地震に係る岩手県内公立図書館等の被害概況(平成23年12月25日現在)」<http://www.library.pref.iwate.jp/0311jisin/lib-iwate.html> を基に作成。

(*)開館状況の「時短」は時間を短縮しての開館。

4.3 宮城県

4.3.1 図書館における人的被害

人的被害としては、津波により南三陸町図書館の館長 1 名が死亡、石巻市図書館の臨時職員 1 名が行方不明である。

4.3.2 図書館における物的被害／施設・設備

(1) 公立図書館

宮城県図書館の調査¹¹によると、県内の公立図書館のうち 3 月中に開館した館は 3 館にすぎず、4 月に入ってからが 14 館、5 月が 10 館、6 月が 4 館、他の 5 館はそれ以降の開館となっている。前述のとおり開館＝復旧とは言い切れない場合もあるが、再開までにかかった時間や閉館期間の長さから、宮城県における被害の大きさをうかがい知ることができる。

施設・設備に関する被害としては、津波による建物自体の流失や浸水による入口部分の破損、図書資料の水損・流失のほか、「建物全体に歪み・きしみ・隙間・雨漏り」、「地盤沈下」、「壁・柱のヒビ・亀裂・破損・崩落」、「天井よりコンクリート片が落下」、「窓ガラス・入口ガラスの破損」、「ボイラー破損」、「増築部のつなぎ目に亀裂」等、建物の内外に甚大な被害のあったことが報告されている。

被害の大きかった公立図書館をまとめると、表 4-5 のようになる。

表 4-5 被害の大きかった公立図書館等（宮城県）

建物全壊（津波）	南三陸町図書館 女川町生涯教育センター（公民館図書室） 石巻市図書館雄勝分館、同北上分館
判定で危険度が高いと判定	名取市図書館 七ヶ浜図書センター（公民館図書室） 涌谷町涌谷公民館
施設等の被害が大	気仙沼市気仙沼図書館（2 階部分基礎） 登米市迫図書館（周辺地盤沈下、増築部分のずれ、梁落下等） 登米市登米図書館（書架損壊） 多賀城市立図書館（建物亀裂等多数） 角田市図書館（書架損壊） 仙台市泉図書館（壁、ガラス等）

（出典）宮城県図書館「宮城県図書館における東日本大震災の被災・復旧の記録」2011.9（暫定版）
<http://www.library.pref.miyagi.jp/shinsaikirokusyu.pdf>

¹¹ 宮城県図書館「東日本大震災による県内市町村図書館及び公民館図書室の被害状況（最終更新日 2011/12/28）」http://www.library.pref.miyagi.jp/20110311_jishin_miyagi.html

(2) 大学図書館

大学図書館は、前出の東北地区大学図書館協議会による調査では、3～4月に開館した館でもほとんどが開館時間を短縮しての開館、部分開館もしくは施設限定での開館となっている。

公立図書館同様、大学図書館でも多くの被害が報告されている。「壁面・柱の亀裂、ヒビ」や「外壁落下」、「天井破損・剥落」、「ガラス破損」、「パソコンの転倒・落下」、「書架の倒壊・転倒・破損」、また天井裏の配管が壊れたことによる「漏水、シミ」等、建物・設備に関するさまざまな被害が報告されている。

(3) 学校図書館

前出の文科省調査によると、2011年10月現在、宮城県の764の学校のうち、他校・他施設を使用している学校が42校（約5.5%）あり、仮設校舎を使用している学校が9校（約1.1%）ある。図書室の使えない学校は20校（約2.6%）で、調査対象の3県のうちでは、最も多い数となっている。

また、前出の全国学校図書館協議会による調査（回答校230校）では、2011年10月時点で、建替え・修理が必要とした学校が34校（約14.8%）あった。

学校図書館のうち高校の図書館の被害状況については、宮城県高等学校図書館研究会によって「学校図書館震災被害状況調査」が実施されており、県内大半の高校図書館の「施設」「書架・備品」「蔵書」について被害状況がまとめられている。

(4) その他の図書館

その他、専門図書館等について、被害状況が分かる資料及び情報は見当たらなかった。

4.3.3 図書館における物的被害／図書資料等

(1) 公立図書館

書架・書棚類の転倒・破損もほとんどの館で見られ、全ての館で図書・資料が落下・散乱している。宮城県図書館では、「本震で約105万点のほとんど、余震で5割落下」というように、余震の激しさも伝えている。

(2) 大学図書館

東北大学附属図書館の「1、2号館の図書数十万冊が落下」、「ほぼ全ての図書落下」というように、22館すべてに数千～数十万冊レベルでの落下があり、本震と余震で少なからぬ冊数が落下・散乱した。数千冊単位の図書が落下の衝撃や水漏れにより破損し、廃棄を余儀なくされた図書もある。

(3) 学校図書館

宮城県の学校図書館については、前出の全国学校図書館協議会による調査（回答校 230校）では、2011年10月時点で「蔵書の状況」について、利用できる本が「ない」「少ない」とする学校が17校（約7.4%）あったとされている。

(4) その他の図書館

その他、専門図書館等について、被害状況が分かる資料及び情報は見当たらなかった。

表 4-6 宮城県の公立図書館等の被害状況

館名	被害状況			開館日	備考(*)
	人的	建物・設備	図書資料等		
宮城県図書館	なし	建物に破損箇所。館内壁面大型ガラス、石板等の破損・落下・剥離。外構一部損壊等	書架・書棚類、保管棚類の転倒、損壊。本震で約105万点のほとんど、余震で5割落下	5/13	
仙台市民図書館	なし	本震で甚大な被害、余震で天井の一部落下	大多数落下、破損数百点、余震で半数落下	5/3	
仙台市広瀬図書館	なし	なし	散乱	4/19	
仙台市宮城野図書館	なし	内部の給水管破損	給水管が原因の水損	4/18	
仙台市榴岡図書館	なし	点検中	散乱	—	[5/12 臨時窓口設置]
仙台市若林図書館	なし	スプリンクラー故障、視聴覚機器水損	散乱	5/27	
仙台市太白図書館	なし	ガラス割れ	散乱	5/10	
仙台市泉図書館	なし	1階ガラス割れ20カ所、内外壁亀裂多数、一部鉄筋露出、エレベータ破損等	一部書架集団ズレ発生。書架転倒多数。資料も散乱多数	11/30	
塩竈市民図書館	なし	津波で1階浸水。入口ドア等のガラス破損	3・4階集密書架等の倒壊・破損多数、本震で7割程度落下、余震で3割程度落下	4/21	
名取市図書館	なし	壁の亀裂多数。2階の壁や柱表面の崩落、窓ガラス破損、ひび割れ多数等	書架転倒・破損多数。本震で相当数落下、余震で半数落下	5/10	
多賀城市立図書館	なし	玄関ガラス破損、天井一部落下、ボイラー破損等。山王分室の書架・PC廃棄	散乱。大代分室の約9,000冊は廃棄	4/23	
岩沼市民図書館	なし	本震で旧館の駐車場と入口スロープに亀裂。東分館は床上45センチの津波	旧館は散乱。東分館は書架数カ所転倒、図書の約半数1,240冊が水損・流失、視聴覚資料は全点水損・流失	5/28	
亘理町立図書館	なし		図書2割落下、視聴覚資料一部破損	6/1	
利府町図書館	なし	壁に亀裂、基礎沈下による書庫の傾斜、ゆがみ、書架のズレ等	3～4割散乱	5/7	
山元町中央公民館図書館	なし	なし	散乱	9月	

松島町勤労青少年ホーム	なし	なし	散乱	6/3	
七ヶ浜図書センター	なし	被害甚大	全て公民館に移動	9月	
白石市図書館	なし	なし	散乱	3/23	
角田市図書館	なし	建物に亀裂・落下	児童用書架 8 割転倒、一般用書架破損等	4/18	
蔵王町図書館	なし	棚板 3 枚外れ	7 割落下	3/29	
柴田町図書館	なし	電灯落下	散乱	4/26	
丸森町立金山図書館	なし	内装・外装・天井に亀裂	書架ゆがみ、棚外れ。散乱、一部破損	5/10	
大河原町駅前図書館	なし	なし	5 割散乱、余震で再び 2 割散乱。天井裏の配管破損により 50 冊ほど水損	4/20	
大崎市図書館	なし	壁の亀裂、床ゆがみ、亀裂多数。書架ずれ、一部損壊。ガラス戸破損、電動書架破損等	6 割程度落下、書籍・視聴覚資料一部破損	4/13	
加美町中新田図書館	なし		散乱多数	4/12	
加美町小野田図書館	なし			4/11	
涌谷町涌谷公民館	なし	公民館全体が判定で「危険」	7 割落下、余震で 8 割落下		
涌谷町筥岳公民館	なし	外構、機械室等破損	資料 9 割落下、余震でも 9 割落下		
美里町小牛田図書館	なし	天井一部落下、ガラス壁破損、書架 1 棚転倒、ガラスレリーフ破損	9 割落下、破損あり	4/9	
美里町南郷図書館	なし	閉架移動書架のレール外れ	8 割落下、破損あり	4/9	
栗原市立図書館	なし	外壁等亀裂、自動ドア故障、正面入口付近地面陥没	散乱多数	4/12	
登米市立迫図書館	なし	増築部のつなぎ目に亀裂、建物全体に歪み、きしみ、隙間、雨漏り、壁にヒビ多数等	木製書架 3 台倒壊・破損、ステンレス製書架 15 台全て転倒・破損。資料ほとんど落下等	5/18	
登米市立登米図書館	なし	入口スロープ等に亀裂、地盤沈下。1 階書架 8 割転倒。書庫ガラス扉破損等	本震で 6 割落下、破損多数。余震で 1 階の 5 割、2 階の 6 割落下、破損多数	4/19	
石巻市図書館	1 名行方不明	外壁・内壁・床・天井に破損・亀裂。館外のたたき通路等多数亀裂	数万点落下。貸出資料のうち数千点が水没・汚損と推定。余震により閉架書庫の資料多数散乱	6/7	
東松島市図書館	なし	余震により天井落下等	9,000 冊あまり被災か	6/1	
女川町生涯教育センター	なし	津波により全壊	津波により全部流失	2012/3/23 勤労青少年センターにて開館	
気仙沼図書館	なし	蛍光灯落下。内外の床・壁・天井等破損箇所多数。ガラス・アクリル板破損。移動図書館車水没	6 割落下、破損。移動図書館車搭載資料 3,000 冊水没。余震により 2 割落下	3/30 9/1 移動図書館車再開	

気仙沼市本吉図書館	なし	ひび割れ。天井よりコンクリート片、鉄片落下	多数落下	5/6	
南三陸町図書館	館長死亡	全て流失、地盤沈下	全て流失	プレハブで再開 10/5	

(出典) 宮城県図書館「東日本大震災による県内市町村図書館及び公民館図書室の被害状況(最終更新日2011/12/28)」http://www.library.pref.miyagi.jp/20110311_jishin_miyagi.htmlを基に、宮城県図書館への聞き取り調査内容を加えて作成。(*)備考欄の[]の日付はホームページの情報による。

表 4-7 宮城県内の大学図書館等の被害状況

館名	被害状況			開館状況(*)	備考(**)
	人的	建物・設備	図書資料等		
東北大学附属図書館[本館]	なし	壁のヒビが多数発生、一部のモルタル・天井がはがれて落下	1・2号館の図書数万冊落下	4/11 一部開館予定	
同 [医学分館]	なし	外壁落下や亀裂、冷暖房設備落下、ガラスの破損等被害大	ほぼ全ての図書落下、余震でも1万冊程度落下	3/14 一部施設限定	
同 [北青葉山分館]	なし	2階閲覧室天井配管より1階閲覧室階上まで漏水、シミ、床破損。閲覧室書架倒壊等	図書・雑誌の水濡れ、落下多数。4/7 余震でも大量に落下	しばらく閉館	[4/13 部分開館]
同 [工学分館]	なし	天井石膏ボード破損・剥落、空調吹出口落下、入口外タイル破損・段差、敷地内地割れ等	図書多数落下、余震でも2,200冊落下	4/7 から部分開館	
同 [農学分館]	なし	壁のヒビ、天井のダクト落下、エレベータのずれ等	図書数万冊落下、余震でも数千冊落下・一部破損	しばらく閉館	[4/18 開館]
宮城教育大学附属図書館	なし		本震・余震で図書落下	閉館中	[5/2 開館]
宮城大学総合情報センター	なし	壁の一部亀裂、コンクリート片の剥離等。閉架電動書架の一部に歪み	2階開架書架の8割(約3万冊)落下、余震で再び4割(約1.5万冊)落下、計200冊破損等	4/11 部分開館、5/8 予定	
仙台大学附属図書館	なし	なし	書架から多数落下	5/7	
仙台白百合女子大学図書館	なし	各所にヒビ、安全確認済み。壁固定の書架のボルトすべて抜ける	全部書架から落下、余震で9割が再度落下、修理必要な図書多数	5/9	
石巻専修大学図書館	なし	空調カバー外れ、書架固定の壁破損、書架数台転倒	7割程度の図書落下、数十冊の図書破損	閉館中	[5/16 開館]
東北学院大学中央図書館	なし	壁面タイル亀裂・一部崩落、壁面等に亀裂。利用者用パソコン5台転倒、書架傾斜等	蔵書65万冊中約30万冊落下	休館	[5/9 開館]
同 [多賀城キャンパス図書館]	なし	壁面等に亀裂発生。保存書架の一部傾斜	蔵書15万冊中約1,500冊落下	休館	[5/9 開館]
同 [泉キャンパス図書館]	なし	壁面等に亀裂発生、トイレタイル剥離、利用者用パソコン3台落下	蔵書約30万冊中約20万冊落下	休館	[5/9 開館]
東北工業大学附属図書館	なし	書庫の壁にヒビ・剥離、増築境界部分に損傷。木製雑誌架転倒、前面部分損傷等	開架図書室の全3万冊落下、余震でも7割落下。上階の水漏れにより蔵書若干冊水を被る等	4/1	八木山本館

東北福祉大学図書館	なし	1階窓ガラス1カ所破損、各階書架壁面数カ所破損、2階固定木製雑誌架2本倒壊等、	3階天井内部水道管が破損、漏水により落下図書2,000冊強が被災、落下による破損も多数	4/26	
東北文化学園大学総合情報センター図書館	なし	建物屋上の変電設備破損、館内設置の銅像と台座倒壊。木製書架2台倒壊等	開架閉架書庫ともに図書が大量に落下	5/9	
東北薬科大学附属図書館	なし	大きな被害はなし。集密書架の上部レール壁面外れ、書架棚板の一部破損、歪み等	全体の約4割(約4万冊)図書・製本雑誌落下、若干数破損	4/25	
宮城学院女子大学図書館	なし	全フロアで壁・柱のヒビ、天井排気口が落下、業務用端末ディスプレイ2台転倒等	開架閉架書架の8割程度落下、集密書架では2~3割落下、50冊程度破損	4/20	
尚綱学院大学図書館	なし	特になし	約1,000冊落下	4/5時短	
聖和学園短期大学図書館	なし	壁の亀裂、棚の位置に変動、AVラック1台破損	半分程度落下、破損も何冊かあり	4/1	
仙台青葉学院短期大学図書館	なし	被害なし	蔵書の3分の2(5,000冊)ほどが落下、余震では1,000冊程度落下	通常どおり	
東北生活文化大学・同短期大学部図書館	なし	館内の壁にヒビ・亀裂、窓ガラス3枚割れる、移動書架一部転倒等	蔵書の約4割落下	5月GW明けを予定	

(出典) 東北地区大学図書館協議会「東北地方太平洋沖地震による東北地区大学図書館協議会加盟館の被害状況」(2011.8.12公表) <http://www.library.tohoku.ac.jp/tohokuchiku/earthquake.pdf> を基に作成。

(*)開館状況の「時短」は時間を短縮しての開館。

(**)備考欄の[]の記述は各大学のホームページ等で確認した開館日。

4.4 福島県

4.4.1 図書館における人的被害

人的被害を報告した資料及び情報は見当たらなかった。

4.4.2 図書館における物的被害／施設・設備

(1) 公立図書館

福島県立図書館による調査¹²では、公立図書館 64 館（公民館図書室を含む）のうち 29 館は 3 月中に開館しており（「通常どおり（開館）」を含む）、14 館が 4 月、5 館が 5 月に開館し、他の館はそれ以降の開館となっている。

公立図書館の施設・設備に関する被害では、「なし」とした館は 26 館で、他の館からはさまざまな被害が報告されている。「地盤沈下」「地面陥没」のほか、建物の被害は「基礎」「屋根・天井・壁・床・窓ガラス・設備」の広範囲に及び、「天井から空調ダクト多数落下」、「空調配管・電気設備に大きなダメージ」、「玄関の敷石はがれ」「照明器具破損」「壁面ガラス・強化ガラス破損」等、激しい揺れを物語っている。敷地内に津波が押し寄せた館もある。

福島第一原子力発電所から 20km 圏内の「警戒区域」内にある公立図書館等は 6 館あり、これらの館については、2011 年 4 月 22 日以降立ち入りが出来ず、被害状況の把握も十分でないものと推測される。

2011 年 3 月現在で、警戒区域内で立入制限のある図書館は、表 4-8 のとおりである。

表 4-8 福島県で立入制限のある公立図書館等（福島第一原子力発電所 20km 圏内）

警戒区域 (20km 圏内)	南相馬市立小高図書館 大熊町図書館 双葉町図書館 浪江町図書館 富岡町図書館 楡葉町コミュニティセンター図書室
-------------------	--

(2) 大学図書館

大学図書館についても、3 月中の開館は 11 館のうち 3 館のみで、他は 4 月以降、施設の利用制限をしながら時間短縮による開館となっている。

大学図書館の施設・設備に関する被害では「大きな被害はなし」とする館は 2 館のみで、他の館は、公立図書館同様さまざまな被害を受けた。「(建物の) 周囲が液状化」、「壁・天井・床表面の一部ひび割れ。余震で壁の亀裂が広がる」、「建物内外にひび割れ多数、1 階の

¹² 福島県立図書館「東日本大震災による福島県内の図書館の開館・被害状況等について」（最終更新日 2011.3.9）http://www.library.fks.ed.jp/ippan/sinsai_higai_fukushimaken_library.html

床が隆起]、「パソコン・照明各 1 台破損」、「集密書架破損」、「コンピュータシステムがダウン」等が報告されており、「電動書架が現在でも故障中」という館もある。

(3) 学校図書館

文部科学省の調査では、2011 年 10 月時点で、福島県の学校 850 校のうち、まだ他校・他施設を使用して授業を実施している学校が 45 校あり（約 5.3%）、仮設校舎を使用している学校が 27 校（約 3.2%）ある。図書室が使用できないとする学校は 12 校（約 1.4%）とされている。

また、全国学校図書館協議会の調査（回答校 159 校）によると、2011 年 10 月時点で、施設・設備の状況について、建替え・修理が必要とした学校が 16 校（約 10.1%）あり、損傷・浸水はあったが利用可能とする学校が 50 校（約 31.4%）あった。

(4) その他の図書館

その他、専門図書館等について、被害状況が分かる資料及び情報は見当たらなかった。

4.4.3 図書館における物的被害／図書資料等

(1) 公立図書館

福島県立図書館による調査では、図書資料等の被害については、被害は「なし」とした館は、不明もあるが 64 館のうち 12 館（約 19%）にすぎず、「落下散乱 10 割」から「一部落下」までの幅はあるが、ほとんどの館は図書の「落下・散乱」の被害を受けている。

(2) 大学図書館

同じ調査では、施設・設備に被害はなかったものの、図書資料については「14 万冊」「6 万冊」「5 万冊」等、全ての館で図書が落下・散乱し、またそれによって破損したり水に濡れたりという被害を受けている。

(3) 学校図書館

全国学校図書館協議会の調査（回答校 159 校）では、2011 年 10 月時点で、蔵書の状況について、利用できる本が「ない」「少ない」とする学校が 14 校（約 8.8%）あった。

(4) その他の図書館

その他、専門図書館等について、被害状況が分かる資料及び情報は見当たらなかった。

表 4-9 福島県内の公立図書館等における被害状況

館名	被害状況			開館日(*)
	人的	建物・設備	図書資料等	
福島県立図書館	なし	天井から空調ダクト多数落下、空調配管・電気配線に大きなダメージ、玄関敷石はがれ、壁面ガラス破損等	大部分の本が落下	7/15 部分開館
福島県点字図書館	なし	壁、窓ガラス	落下散乱約 4 割	通常どおり
福島市立図書館	なし	壁、窓ガラス、書架	落下散乱約 5 割	4/3
二本松市立二本松図書館、岩代図書館	なし	照明器具破損 3 カ所	落下散乱約 1 割	3/16
伊達市立図書館	なし	防災ガラス散乱	落下散乱	3/26
郡山市中央図書館	なし	基礎、壁、床、窓ガラス、設備	落下散乱約 8 割	2012/3/9 まで休館 他 3 館は 2011/5/1 から開館
須賀川市図書館	なし	壁、床、窓ガラス、設備	落下散乱 10 割	4/5
田村市図書館	なし	子どもの部屋の強化ガラス 2 枚破損、壁の一部ヒビ	落下散乱約 5 割	4/5(都路分館は休館中)
白河市立図書館	なし	新館のガラス破損、書架ボルトゆるみ	一部落下	7/24 新館開館 他 3 館は 4/1 から
会津若松市立会津図書館	なし	なし	10 分の 1 程度落下、汚破損数点	4/16 新館開館
喜多方市立図書館	なし	壁、窓ガラス	一部落下	3/13
相馬市図書館	なし	なし	落下散乱約 2 割	4/16
南相馬市立中央図書館	なし	なし	大分落下	8/9 一部開館、鹿島図書館 12/6、(小高図書館は休館中)
いわき総合図書館	なし	壁、設備、照明、空調、書架(地区館)	落下散乱 10 割	5/30
本宮市しらさわ夢図書館	なし	床暖房故障	落下散乱 5 割	4/12
鏡石町図書館	なし	設備、地盤沈下、断水	落下散乱 9 割、数十点使用不能	5/3 時間短縮・一部開館
古殿町図書館	なし	なし	落下なし	4/10
三春町民図書館	なし	一部ヒビ、ガラス 2 枚破損	落下散乱約 5 割	3/14
小野町ふるさと文化の館	なし	壁・床(郷土資料館部分)	落下散乱約 2 割	3/26
矢吹町図書館	なし	地面陥没、壁、設備(書架倒壊、蛍光灯破損)	落下散乱約 9 割、汚損破損約 1 割	4/26 一部開館
棚倉町立図書館	なし	屋根・壁にヒビ、ガラス破損	落下散乱 5 割	5/17
南会津町図書館	なし	なし	一部落下	通常どおり
新地町図書館	なし	敷地内津波被害、壁、床、窓ガラス、天井付属品落下	落下散乱 10 割	7/13 仮オープン
大熊町図書館	なし	福島第一原発 30km 圏内	ほとんど落下	—
双葉町図書館	なし	福島第一原発 30km 圏内	落下散乱 9 割	—
浪江町図書館	なし	福島第一原発 30km 圏内	落下散乱 6 割	—
塙町立図書館	なし	なし	落下散乱約 9 割	4/1
矢祭町矢祭もったいない図書館	なし	なし	落下散乱 5 割	3/20

鮫川村図書館	なし	余震により館内階段が破損		移転して開館
富岡町図書館	なし	福島第一原発 30km 圏内	(避難所に別途図書室設置)	—
泉崎村図書館	なし	壁、設備、上下水道断裂	落下散乱 9 割	3/24
桑折町中央公民館図書室	なし	壁、本棚ゆがみ	落下散乱 2 割	通常どおり
国見町観月台文化センター図書室	なし	施設の一部破損	落下散乱 5 割	4/25
川俣町中央公民館図書室	なし	設備	落下散乱 9 割	通常どおり
大玉村歴史民俗資料館図書室	なし	なし	3 分の 1 落下	通常どおり
天栄村生涯学習センター図書室	なし	外部ヒビ、亀裂、内部壁剥離、照明落下	散乱	5/16
石川町公民館図書室	なし	一部破損	散乱	通常どおり
玉川村公民館図書室	なし	なし	散乱	通常どおり
平田村中央公民館図書室	なし	一部破損	一部散乱	4/14
浅川町中央公民館図書室	なし	なし	散乱	通常どおり
西郷村中央公民館図書室	なし	窓ガラス	本棚 2 連分落下散乱	9/30 改装オープン
中島村生涯学習センター輝ら里図書館	なし	壁、空調故障	落下散乱 8 割	4/27
北塩原村公民館図書室	なし	なし	落下なし	通常どおり
西会津町立西会津中学校図書室	なし	なし	落下なし	通常どおり
磐梯町中央公民館図書室	なし	なし	落下なし	通常どおり
猪苗代町体験交流館図書室	なし	一部外壁破損	落下散乱 1 割	4/9
会津坂下町中央公民館図書室	なし	なし	一部落下	通常どおり
湯川村公民館図書室	なし	なし	落下なし	通常どおり
柳津町やないづふれあい館図書室	なし	なし	落下散乱 3 割	通常どおり
会津美里町公民館	なし	なし	落下なし	通常どおり
三島町公民館図書室	なし	なし	落下なし	通常どおり
金山町中央公民館図書室	なし	なし	落下なし	通常どおり
昭和村公民館図書室	なし	なし	落下なし	通常どおり
下郷町グリーンプラザ・田沼文蔵記念館図書室	なし	なし	一部落下	通常どおり
檜枝岐村公民館図書室	なし	なし	落下なし	通常どおり
只見町教育委員会	なし	なし	落下なし	1 センターのみ休館
飯館村公民館図書室	なし	壁、床	落下散乱 5 割	3/13
広野町図書室	なし	なし	大部分落下散乱、一部破損	6/2
檜葉町コミュニティセンター図書室	なし	福島第一原発 30km 圏内		—
川内村公民館図書室	なし			電話不通
葛尾村公民館図書室	なし			電話不通

クローバー子供図書館	なし	なし	落下散乱 9割	3/22
福島県議会図書室	なし	壁、窓ガラス、設備	落下散乱 5割	5/17
福島県男女共生センター	なし	なし	なし	4/12

(出典) 福島県立図書館「東日本大震災による福島県内の図書館の開館・被害状況等について」(最終更新日 2011.3.9) http://www.library.fks.ed.jp/ippan/sinsai_higai_fukushimaken_library.html の情報に、福島県立図書館の被害状況等を付け加えた。

(*)開館日は、出典資料の表中にある休館期間の翌日からと見なして記している。

表 4-10 福島県内大学図書館等の被害概況

館名	被害状況			開館状況
	人的	建物・設備	図書資料等	
福島大学附属図書館	なし	天井石膏ボード一部はがれ、壁・天井・床表面の一部ひび割れ。4/7 余震で壁の亀裂さらに広がる。電動式集密書架の一部故障	図書の落下 14 万冊、雑誌・新聞の落下 8 万点、マイクロフィルムの落下 800 点、4/7 の余震でも約 500 冊落下	4/25 時間短縮して開館。日祝日閉館。一部施設利用制限
会津大学情報センター附属図書館	なし	地下の閉架電動書架の一部現在も故障中	1・2 階の棚の上 3 段の本はすべて落下、低書架は書架ごと倒れた等	3/28 時間短縮して開館
会津大学短期大学部附属図書館	なし	一部壁面にヒビ。書架の一部が転倒、移動	図書・雑誌約 1 万 7,000 冊落下、数十冊破損	3/15
福島県立医科大学附属学術情報センター	なし	大きな被害はなし	4 割程度の落下	5/1
いわき明星大学図書館	なし	特になし	蔵書の約 1 割(2 万 2,000 冊)散乱、うち 1,600 冊要修理	4/25
奥羽大学図書館	なし	ヒビ、亀裂多数あり、固定書架の全てが傾き一部完全倒壊、電動書架一部損傷	固定書架配架図書の約 25% 落下散乱、天井配管破裂により、うち約 5% が水濡れ等	4/1 時間短縮して開館、一部施設立入禁止
郡山女子大学図書館	なし	建物内外にひび割れ多数、1 階床隆起、正面階段一部崩落、周囲液状化。転倒書架あり、スチール書架廃棄等	破損図書多数	5/9 部分開館予定
昌平図書館(東日本国際大学・いわき短期大学)	なし	壁の一部にヒビ、壁の塗装の落下	図書・雑誌約 1,000 冊落下、若干破損、視聴覚収納け一酢落下、破損	5/9
日本大学工学部図書館	なし	壁の一部に亀裂、書架の転倒により書架・棚板の破損	図書・雑誌全体の 7 割程度落下・散乱、ネットワーク 10 日ほど不通	4/13
桜の聖母短期大学図書館情報センター	なし	壁のひび割れ数カ所、パソコン・照明各 1 台破損、集密書架破損	約 5 万冊落下、50 冊ほど破損	3/16
福島学院大学図書館情報センター	なし	最上階の壁に少し亀裂、コンピュータシステムダウン等	蔵書約 6 万冊のほとんどが落下、数十冊破損、視聴覚資料約 3,000 点落下、破損	5/9

(出典) 東北地区大学図書館協議会「東北地方太平洋沖地震による東北地区大学図書館協議会加盟館の被害状況」(2011.8.12 公表) <http://www.library.tohoku.ac.jp/tohokuchiku/earthquake.pdf> を基に作成。

4.5 茨城県

4.5.1 図書館における人的被害

人的被害としては、茨城県立図書館において、出入口付近で約 300 人いた来館者や図書館ボランティアの避難誘導にあっていた警備員が 1 人、天井からの落下物により頭部に軽傷を負った。

4.5.2 図書館における物的被害／施設・設備

(1) 公立図書館

章頭に引用した文部科学省の「物的被害のあった図書館数」では、茨城県の被害数 39 は東京都の 46 に次いで 2 番目に多くなっている。

茨城県立図書館の調査¹³によると、公立図書館 62 館（公民館図書室を含む）のうち、不明の館はあるものの、35 館は 3 月中に開館し、4 月に入ってからが 17 館、5 月が 5 館、その他の館は 6 月以降に開館している。開館したとしても、計画停電の影響からほとんどが開館時間を短縮しての開館である。茨城県立図書館は、9 月まで開館を待たねばならなかった。

人的被害が出た茨城県立図書館の「天井落下等施設の被害大」をはじめとして、「地盤沈下により玄関タイル亀裂」、「建物の前が隆起陥没、建物内も沈下箇所あり」、「建物の基礎部分にヒビ、周辺液状化や地割れ、駐車場に津波」、「建物にヒビ」等、建物施設の土台に関わる報告が目につき、「天井から照明カバーや石膏ボードが落下」、「石膏像 2 体倒壊」、「ボイラー故障」、「水道管損傷による漏水」等設備に関する多くの被害が報告されている。

(2) 大学図書館

大学図書館については、13 校のうち 3 月中の開館は 4 館で、他の館は 4 月以降の開館となっている。

施設・設備に関して「建物・システムに被害なし」が 2 館で、「(安全確認のため) 大学建物全て立入禁止」や「ガラス、天井が落ちそうで入れない」、「天井や壁にヒビ、瓦屋根が落下」、「水漏れ館内 8 割」等揺れの激しさを伝える報告がされている。

(3) 学校図書館

学校図書館については特に取りまとめた報告・資料等はなく、被害状況の詳細な把握は困難である。ただ、章頭の文部科学省の「物的被害状況」では、茨城県の「学校施設」の被害数 1,290 は全国で最も多くなっており、多くの学校図書館が被害に遭ったことは想像に難くない。

¹³ 茨城県立図書館「「東日本大震災」における県内図書館被害状況（10 月 5 日午前 9 時現在）」
<http://www.lib.pref.ibaraki.jp/home/higaijyoukyou.pdf>

(4) その他の図書館

その他、専門図書館等については、被害状況が分かる資料及び情報は見当たらない。

4.5.3 図書館における物的被害／図書資料等

(1) 公立図書館

「25万点落下」、「書架転倒・破損」、「ほぼ全ての棚で資料が落下」、「本の8割以上が落下・散乱」、「本2万冊落下」、「足の踏み場もないくらい本が散乱」といった、資料の落下・散乱の報告が6割以上の館からなされている。また、それに伴う破損についても、「一部資料破損」、「視聴覚資は大量に破損」等と報告されている。

(2) 大学図書館

全ての館から被害の報告がある。「図書の落下は数万冊」「8割ほどの資料落下、大部分が水濡れ」、「資料はほぼすべて落下散乱」、「水濡れ図書100冊ほど」、「資料が散乱して（復旧の）見通しが立たず」といった被害状況である。

(3) 学校図書館

学校図書館の被害状況について取りまとめた資料及び情報は見当たらず、前節のような推測が言えるのみである。

(4) その他の図書館

その他、専門図書館等について、被害状況が分かる資料及び情報は見当たらなかった。

表 4-11 茨城県内の公立図書館等の被害状況

館名	被害状況			開館日(*)	備考
	人的	建物・設備	図書資料等		
茨城県立図書館	1名 けが	天井落下等施設の被害大	25万点落下、一部破損	9/10	
水戸市立中央図書館	なし	ボイラー故障、ガラス破損、蛍光灯の器具ズレ、壁レンガ剥離等	書架転倒・ズレ、図書落下・散乱等	3/29 時短	
水戸市立東部図書館	なし	ボイラー故障、外壁タイルにヒビ、照明カバーの外れ、天井一部落下等	図書落下・散乱	4/20 時短	
水戸市立西部図書館	なし	照明灯ポール倒壊し床面・書架・壁面破壊、梁等のクラック、エアコン、エレベーター故障等	図書落下・散乱	5/17 時短	
水戸市立見和図書館	なし	地盤沈下により玄関タイル亀裂、移動書架歪み	図書落下・散乱	3/29 時短	
水戸市立常澄図書館	なし		図書落下・散乱	3/29 時短	
水戸市立内原図書館	なし	空調吹出口ズレ、床・モルタル割れ	図書落下・散乱	3/29 時短	

日上市立記念図書館	なし	入口天井ボード落下の危険、下がりガラス壁崩落の危険等		5/16 時短	
日上市立多賀図書館	なし	天井が落ちる	資料散乱	4/1 時短	
日上市立十王図書館	なし	建物本体とガラス窓の間が分離、多目的室のガラス破損、天井ダクトずれ等	3分の2の本が落下	4/1 時短	
土浦市立図書館	なし		1～5割の本落下、書架の一部が倒れる、郷土資料室はほとんどの書架倒壊・破損	3/18 時短	
古河市古河図書館	なし	被害なし		3/20 時短	
古河市三和図書館	なし		本・DVD等10分の1落下、	3/20 時短	
石岡市立中央図書館	なし	書架に破損、漏水	本8割散乱	4/15	
ゆうき図書館	なし			4/1 時短	
龍ヶ崎市立中央図書館	なし		本の落下あり	3/18 時短	
下妻市立図書館	なし	建物の前が隆起陥没、建物内も沈下箇所あり	本半分以上落下	4/1	
常総市立図書館	なし	建物の壁にヒビ数カ所		3/19 時短	
常陸太田市立図書館	なし	建物全周地盤沈下、出入りロタイル破損、開架書庫の書架一部倒れる、手動式書架の移動棚脱線等	蔵書の60%散乱、落下資料に破損ありCD・カセット等全部落下	4/1	
高萩市立図書館	なし	空調機から水漏れ	本の8割以上が落下・散乱	4/15	
北茨城市立図書館	なし	建物の基礎部分にヒビ、周辺液状化や地割れ、駐車場は津波が浸水	書架から本が全部落下	4/19	
笠間市立笠間図書館	なし	天井から照明カバーや石膏ボードが落下	8割程度落下	3/26 時短	
笠間市立友部図書館	なし	なし	本が落ちた程度、ほぼすべての資料が散乱	4/1 時短	
笠間市立岩間図書館	なし	天井が破損、照明カバーが落下	書架の本半分落下	3/26 時短	
取出市立取出図書館	なし	設備や書架の損傷がひどい		4/29 時短	
取出市立ふじしろ図書館	なし			3/23 時短	
牛久市立中央図書館	なし			3/19 時短	
つくば市立中央図書館	なし	カウンターの照明一部落下	落下資料多数、視聴覚資料は大量に破損	3/23 時短	
ひたちなか市立中央図書館	なし	階段そばの石膏像2体倒壊、壁はめ込み式の棚倒れる、集会室天井崩落寸前、壁亀裂多数、システム不可等	開架室は足の踏み場もないくらい本が散乱	6/14 時短	
ひたちなか市立那珂湊図書館	なし	整理室間仕切りガラス破損、一般開架室の天井ボード・照明器具部分破損、	図書・資料落下・散乱	3/29 時短	

		書架 1 基倒れる等			
ひたちなか市立佐野図書館	なし	館内すべてで天井石膏ボード落下ほか建物の損傷あり	図書・資料落下・散乱、本やCDの破損多数	3/29 時短	
鹿嶋市立中央図書館	なし	被害なし	本 2 万冊落下、大野分館は 3 万冊落下	3/15 時短	
潮来市立図書館	なし	被害甚大、ガラス割れ、塀が崩れ	すべての本棚、本が散乱	4/11 時短	
守谷中央図書館	なし	吹き抜け部分の天井落下	資料散乱	6/28	
常陸大宮市立図書情報館	なし	外壁・天井一部がはがれた	本は 3 分の 2 が落下	6/10 時短 一部	
那珂市立図書館	なし	天井及び排煙吊りガラス一部崩落、懸垂照明器具落下のため要修復工事		9/30	
筑西市立中央図書館	なし	外構地盤沈下、駐車場ひび割れ、空調設備の水漏れ	図書落下し散乱	3/29	
筑西市立明野図書館	なし	水道管ずれて外が水浸し、天井ボード落下	本は散乱	3/29	
板東市立岩井図書館	なし		書架上 2、3 段の本落下	3/15	
板東市立猿島図書館	なし	なし	資料散乱のみ	3/15	
稲敷市立図書館	なし	閉架書架、保管書庫の棚使用不能	閉架書架より本、CD、DVD 落下、一部資料が破損	5/10	
かすみがうら市立図書館	なし		閉架書庫の資料散乱	3/18	
神栖市立中央図書館	なし	入口の大ガラス破損		3/18 時短	
神栖市立うずも図書館	なし	なし	本 1 割程度落下	3/17	
行方市立図書館	なし	身障者スロープ・玄関部分に 2、3cm の段差、内壁各所・駐車場及び玄関周りにひび割れ、水道管損傷による漏水、書架 1 台転倒・破損等	視聴覚資料開架のみで数十点破損、閉架書庫については把握できず	4/1	
鉾田市立図書館	なし	2 階(レファレンス室・閲覧室)は出入り禁止		3/22 一部	
つくばみらい市立図書館	なし	建物全周の地盤沈下、舗装部分ひび割れ、1 階トイレ天井の一部落下、開架書架 2 基転倒破損等	開架のほぼ全ての一般書と一部児童書、ビデオテープが落下、閉架はほぼ全ての棚で資料が落下等	4/1 時短	
小美玉市小川図書館	なし	建物にヒビ	書棚の本ほとんど落下	3/20 時短	
小美玉市玉里図書館	なし	建物に被害はない	本が散乱	3/20 時短	
茨城町立図書館	なし	館内に一部立入禁止スペースあり	閉架書庫の資料は利用不可	5/17 時短	
城里町立桂図書館	なし		本が散乱	3/30	
東海村立図書館	なし	建物内部の一部ガラスが割れる	図書が落下し散乱	10/1 (建替中)	
阿見町立図書館	なし	被害はない	資料の散乱のみ	3/15 時短	
八千代町立図書館	なし	被害はなし	本の 8 割が落下	3/25	
利根町立図書館	なし	被害はなし		3/16	

小美玉市美野里公民館	なし	避難所となっている。図書室は病人用部屋。建物は多少ヒビ		3/20	
大洗町中央公民館	なし	水道・ガス・電気が使用不可		5/20	
城里町七会公民館	なし	天井にヒビ、エアコン落下		4/5	
太子町立中央公民館別館ブチソフィア	なし			3/15	
美浦村中央公民館	なし		本がバラバラ	4/1	
河内町中央公民館	なし	図書室の被害は特になし		4/1	
常総市地域交流センター	なし	地割れ、舞台装置破損、危険なので当分の間休館		—	
桜川市大和中央公民館	なし	建物の被害はない		—	
桜川市岩瀬中央公民館	なし	建物の被害はない		9/1	
桜川市真壁伝承館	なし	建物の被害はない		—	
五霞町中央公民館	なし	本棚が倒れた		3/16	
境町中央公民館	なし	被害はない		3/16 時短	

(出典) 茨城県立図書館「東日本大震災」における県内図書館被害状況(10月5日午前9時現在)
<http://www.lib.pref.ibaraki.jp/home/higaijyoukyou.pdf> を基に作成。
 (*開館日の「時短」は時間を短縮しての開館。

表 4-12 茨城県内の大学図書館・私立図書館・その他の機関等の被害状況

館名	被害状況			開館日	備考
	人的	建物・設備	図書資料等		
茨城大学図書館	なし	大学建物全て立入禁止。4/17 から安全確認がすんだ建屋が順次解禁、建屋に入る職員数は制限	図書の落下は数万冊にもなる模様	4/18	
茨城女子短期大学図書館	なし	ボイラー室の配管破損、水が1階に滴る、壁等に亀裂、文庫本用スチール製書架のみ傾く等	集密書架約2万冊の2割落下、第2書庫の2割ほど落下、水濡れ図書100冊ほど等	4/19	
茨城キリスト教大学図書館	なし	書架等の破損はなし、別館は書架、キャビネットの破損等ひどい。4/20まで学生立入禁止	図書の落下、別館の閉架書架は数万冊落下。余震のため整理出来ない状況	4/21	
常磐大学情報メディアセンター	なし	建物の被害はひどくないが、3/16から安全確認作業	資料が散乱して見通しが立たず	5月	
水戸短期大学図書館	なし	建物に少しヒビ、本棚数カ所倒れる	資料は散乱	—	
筑波大学附属図書館	なし	本棚が倒れる。体育芸術館はガラス、天井が落ちそうで入れない	図書落下	3/29	
鯉淵学園農業栄養専門学校図書館	なし	天井や壁にヒビ、瓦屋根が落下、本棚が数カ所倒れる	本が散乱	4/7	
茨城工業高等専門学校図書館	なし	ガラス3、4枚割れ、天井・蛍光灯数カ所落下	資料が散乱	5/9	

筑波学院大学附属図書館	なし	2階天井より水漏れ館内の約8割、落下資料の大部分が水濡れ、書架棚板数枚破損、水漏れによる天井パネル破損、一部電源設備故障等	8割ほどの資料落下、大部分が水濡れ、うち約5割は深刻な水濡れ	6/1	
茨城県立医療大学附属図書館	なし	屋上ライト破損、モルタルにヒビ・電動書庫1つ故障、点検口がずれ水漏れ	資料はほぼすべて落下散乱、損傷あり	3/17	
つくば国際大学図書館	なし	建物・システムに被害なし	資料が落下	3/18	
筑波技術大学附属図書館	なし	建物・システムに被害なし	資料が落下	3/22	
流通経済大学図書館	なし	建物の一部に破損箇所	資料が落下	4/25	
笠間稲荷図書館	なし	神社本殿の被害が甚大、鳥居や石像物が倒れる。書庫は大丈夫だった	本棚が倒れ本が落ちた	未定	
常陽史料館史料ライブラリー	なし	外壁の一部が落ち、エレベーター故障	本が書架から落ちた	5/10	
茨城県教育図書館・情報センター	なし	被害はない	書棚から本が落ちた	開館済	
茨城県立点字図書館	なし	天井がはがれ蛍光灯落下、ロッカー転倒	CD・テープも散乱	開館済	

(出典) 茨城県立図書館「東日本大震災」における県内図書館被害状況(10月5日午前9時現在)
<http://www.lib.pref.ibaraki.jp/home/higaijyoukyou.pdf> を基に作成。

4.6 千葉県

4.6.1 図書館における人的被害

人的被害を報告した資料及び情報は見当たらなかった。

4.6.2 図書館における物的被害／施設・設備

(1) 公立図書館

千葉県立中央図書館の調査¹⁴によると、公立図書館の多くは数日の休館後に3月中に開館し、4月にはほとんどの館が開館している。

施設・設備面での被害は、千葉県立中央図書館の「窓ガラス21カ所破損、多数の箇所ではコンクリート片落下」をはじめとして、「建物、受水層、駐車場地面にヒビ」、「建物周囲隆起陥没」、「玄関アプローチに段差、タイル破損亀裂」、「液状化により正面玄関前広場及び駐車場等が陥没・亀裂」といった深刻な被害も報告されている。被害を受けた館の割合としては他県に比べ低い、被害を受けた館の状況は他県と同様である。

(2) 大学図書館

大学図書館については、国立大学図書館協会による全国の会員を対象とした被災状況調査¹⁵の中で、千葉県内の国立大学の附属図書館の被災状況が公表されている。それによると、例えば千葉大学附属図書館では「本が多数落下、現在、復旧中」という2011年3月16日現在の情報が掲載されているが、施設・設備についての具体的な被害は報告されていない。また、放送大学では「液状化現象でひどい状況」「建物への被害はほとんどなく、集密書架のゆれによる壁の破損程度」といった報告がある。その他、千葉県大学図書館協議会の内部資料では「開架フロアの9割の資料が落下」や「図書が約7万冊落下」、「一部書架倒壊」といった図書資料についての報告があり、大学図書館も公立図書館同様、被害があったものと推測される。

(3) 学校図書館

学校図書館の被害状況について取りまとめた資料及び情報は見当たらなかった。

(4) その他の図書館

その他、専門図書館等について、被害状況が分かる資料及び情報は見当たらなかった。

¹⁴ 千葉県立中央図書館「東日本大震災に伴う県内図書館等の対応状況（平成23年9月調査）」

¹⁵ 国立大学図書館協会「東北関東大震災（2011/3/11）における各大学の状況一覧（4/1現在）」
<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/gakugai.pdf> ただし、「最新の情報については、各大学図書館等のホームページをご覧ください」とある。

4.6.3 図書館における物的被害／図書資料等

(1) 公立図書館

図書資料については、書架や棚の揺れや転倒に伴い、「12,000 冊程度落下」、「開架・書庫合わせて 75,000 冊が落下、170 冊程度の資料が破損」、「書架十数本が損壊または継続使用が危険な状態」、「図書約 8 万冊が落下」等、深刻な被害が報告されている。

(2) 大学図書館

前出の国立大学図書館協会の調査や、千葉県大学図書館協議会の「開架フロアの 9 割の資料が落下」や「図書が約 7 万冊落下」等の報告があるが、県内すべての大学図書館の被災状況をまとめた資料は見当たらなかった。

(3) 学校図書館

学校図書館の被害状況について取りまとめた資料及び情報は見当たらなかった。

(4) その他の図書館

その他、専門図書館等について、被害状況が分かる資料及び情報は見当たらなかった。

表 4-13 千葉県内の公立図書館等の被害状況

館名	被害状況			開館日(*)	備考
	人的	建物・設備	図書資料等		
千葉県立中央図書館	なし	窓ガラス 21 カ所破損、多数の箇所コンクリート片落下	7 層の書庫のうち上層 3 層の資料が 12,000 冊程度落下	4/21 時短	
千葉県立西部図書館	なし	建物、受水層、駐車場地面にヒビ発生	開架、書庫合わせて約 75,000 冊が落下、170 冊程度の資料が破損	3/13 時短	
千葉県立東部図書館	なし	建物周囲インターロッキング隆起陥没数カ所、閲覧室内防煙垂れ壁ガラスヒビ、天井石膏ボード破損 4 カ所等	図書の落下約 1,000 冊	3/15 時短	
千葉市中央図書館	なし	(若葉図書館西都賀分館) 玄関アプローチに段差、タイル破損亀裂		3/15 時短	
習志野市立大久保図書館	なし	(新習志野) 地域一帯の液状化により正面玄関前広場及び駐車場等が陥没・亀裂		(新習志野) 3/26 (他 4 館) 3/15 時短	
市原市立中央図書館	なし		書庫の資料が一部落下、散乱	3/23 時短	
八千代市立大和田図書館	なし	(緑が丘) 建物の壁に 40cm のひび割れ (大和田) 一部書架と棚転倒	書架から資料落下し、散乱、一部破損 (大和田) 約 1 万冊 (八千代台) 約 13,000 冊	3/19 時短	

			(勝田台) 約 100 冊 (緑が丘) 約 9,000 冊		
市川市中央図書館	なし	(行徳) 支所とをつなぐ 通路にヒビ、(信徳) 非常 階段踊り場一部損壊	(中央) 書架十数本が損壊ま たは継続使用が危険な状態	3/19 時短	
船橋市中央図書館	なし			3/11	
鎌ヶ谷市立図書館	なし	階段室壁に亀裂、3 階集 会室天井パネルひび割 れ		3/11	
浦安市立中央図書館	なし		閉架書庫に被害、図書約 8 万冊、照明が落下等、各分館 とも落下あり	4/25	
白井市立図書館	なし	エントランスのスプリ ンクラー破損による水 漏れ、出入口付近の壁 に亀裂	一般開架と書庫の資料一部 落下、散乱	3/24 時短	
松戸市立図書館	なし		書架の一部が破損	(小金原分 館以外) 3/18 時短 (小金原分 館) 4/23	
野田市立興風図書館	なし		一部書架から資料落下、散乱	3/12 時短	
野田市立南図書館	なし		一部書架から資料落下、散乱	3/12 時短	
野田市立北図書館	なし		一部書架から資料落下、散乱	3/13 時短	
野田市立せきやど図 書館	なし	天井の空調設備の蓋が 落下	一部書架から資料落下、散乱	3/14 時短	
柏市立図書館	なし		書架の一部が破損、資料の落 下多数	3/13 時短	
流山市立中央図書館	なし	壁のひび割れ等	図書の落下	4/1 時短	
我孫子市民図書館	なし	分煙ガラス破損、(布 佐・湖北台) 壁のひび割 れ等	書架の転倒、図書落下	4/1 時短	
印西市立大森図書館	なし		作業室スチール書架全壊	3/12、4 館(大 森・小林 2 館 除く)	
成田市立図書館	なし	冷温水設備破損により 漏水、暖房使用不可	資料落下 (本館) 11,000 冊 (成田分館) 11,500 冊	3/13 本館の み	
佐倉市立佐倉図書館	なし		書架固定部破損	3/15 時短	
四街道市立図書館	なし	なし		3/15	
八街市立図書館	なし	建物の壁にひび割れ	開架図書 11 冊・閉架図書 344 冊落下等	3/13	
富里市立図書館	なし	壁のひび割れ、石板破 損、AV ホール電動式扉 操作不能		3/18	
酒々井町立図書館	なし	文化ホールとの共有部 分のトイレ・冷暖房設備 故障		3/23	
銚子市公正図書館	なし	なし		3/15 時短	
東金市立東金図書館	なし	施設内外の壁一部剥 落・ひび割れ、トイレド アのゆがみ		3/15 時短	

旭市図書館	なし		書庫の資料一部落下、散乱	3/15 時短	
匝瑳市立八日市場図書館	なし	冷暖房設備損傷	書籍落下	3/14 時短	
香取市立佐原中央図書館	なし		一部書架倒壊、書籍が散乱電動式書架脱線	4/19	
山武市松尾図書館	なし	(さんぶの森) 建物入口ジョイント部分損壊、通路部分外側天板損壊	(全館) 開架・書庫の書籍が落下・散乱	4/1 時短	
東庄町図書館	なし	なし		3/15 平日のみ	
横芝光町立図書館	なし	職員駐車場の一部沈下	開架書籍が一部落下、書庫の書棚高部の書籍が落下・散乱	3/16 時短	
館山市図書館	なし		開架資料 20 冊程度落下	3/13	
木更津市立図書館	なし		参考調査室書架上段の大型本数冊落下	通常どおり	
茂原市立図書館	なし	1 階トイレ脇窓ガラス 1 枚ヒビ	書架から資料落下 300~400 冊	ほぼ通常どおり	
勝浦市立図書館	なし	なし	なし	通常どおり	
鴨川市立図書館	なし	なし	なし	通常どおり	
君津市立中央図書館	なし	なし	なし	3/11 時短	
袖ヶ浦市立中央図書館	なし		書架の資料一部落下、散乱	3/11 時短	
南房総市千倉図書館	なし	なし	なし	通常どおり	
大多喜町立大多喜図書館天賞文庫	なし	なし	なし	通常どおり	
ふれあいプラザさかえ図書室	なし		書架から蔵書の落下若干あり	通常どおり	
神崎ふれあいプラザ図書室	なし	なし	なし	3/22	
多古町図書館	なし	壁にひび割れ、建物老朽化しており回収せず取り壊す予定	書架が倒れて蔵書が落下、散乱	4/19	
大網白里町図書室	なし		開架の書籍が若干落下、書庫は書棚高部の書籍落下	通常どおり	
九十九里町中央図書館	なし	なし	なし	3/15	
芝山町中央公民館	なし	なし	なし	通常どおり	
富津市移動図書館	なし	なし	なし	通常どおり	
いすみ市夷隅公民館	なし	なし	なし	通常どおり	
一宮町まちの図書室	なし	なし	なし	通常どおり	
睦沢町中央公民館	なし	なし	なし	通常どおり	
長生村文化会館図書室	なし	なし	なし	通常どおり	
長柄町公民館	なし	なし	なし	通常どおり	
長南町中央公民館	なし	なし	なし	通常どおり	
御宿町公民館	なし	なし	なし	3/13	
鋸南町立中央公民館	なし	なし	なし	3/14	

(出典) 千葉県立中央図書館「東日本大震災に伴う県内図書館等の対応状況(平成 23 年 9 月調査)」を基に作成。

(*)開館日は、出典資料の表中にある休館期間の翌日からと見なして記している場合がある。

4.7 その他の地域

4.7.1 栃木県

章頭の「4.1.1 文化施設等の被災の概況」で引用した文部科学省の資料では、栃木県の公立図書館の物的被害数は32となっており、東京都、茨城県に次いで館数が多い。公立図書館の被害状況について取りまとめた資料は見当たらなかったが、栃木県立図書館がまとめた「市町立図書館等の動向（2011年9月8日現在）」から、被害の様子が垣間見られる。その中から震災の影響が伺える記述をまとめると、表4-14のようになる。

表4-14 栃木県内の公立図書館等の被害状況

館名	状況
栃木市藤岡図書館	震災により建物の一部損壊（補修工事：11月上旬まで）。現在藤岡公民館に臨時図書館を開設
小山市立中央図書館	震災で建物に被害、現在1階のみ開館
さくら市氏家図書館	震災で建物に被害、10～11月改修工事予定
那須烏山市立烏山図書館	震災で建物に被害（休館中：6月21日から再開）
上三川町立図書館	震災で建物に被害、現在1階のみ開館（8月13日から利用可）
壬生町立図書館	9月27日から天井工事（予定）
那須町立図書館	震災で建物に被害、9月1日リニューアルオープン
那珂川町小川図書館	震災で建物に被害（休館中：9月1日から旧小川健康管理センターにて開館）

（出典）栃木県立図書館「市町立図書館等の動向（2011年9月8日現在）」を基に作成。

栃木県内の大学図書館の被災状況については、前出の国立大学図書館協会による調査結果に、宇都宮大学附属図書館の状況が掲載されている。それによると、2011年3月16日現在で「閉館。本多数の落下。復旧の見込みなし。分館ではガス管の亀裂あり」という報告がなされている。私立大学については、私立大学図書館協会による調査があるが、2012年3月現在で未公表である。

なお、学校図書館・専門図書館等の被害状況について取りまとめた資料及び情報は見当たらなかった。

4.7.2 東京都

同じく章頭に引用した文部科学省の資料では、東京都の図書館で物的被害のあった館数は46となっており、多数の館に被害が出たものと推測されるが、東京都内の公立図書館全体の被害状況について取りまとめた資料は見当たらなかった。

東京都内の大学図書館の被害状況については、前出の国立大学図書館協会が行った被災状況についての調査で、東京大学附属図書館について「図書資料は総合図書館約2万冊、柏図書館約1万冊、法学部図書室2万冊が落下」「建物・設備関係では、総合図書館の水道管が破裂し、水漏れがあった」等の報告が、東京外国語大学附属図書館について「落下図

書 14,716 冊」「壁面・床のひび割れ多数、床材の波打ち等」等の報告が、東京医科歯科大学図書館（分館）では「本の落下約 5,000 冊」等の報告がなされるなど、都内の国立大学図書館からの報告が掲載されている。私立大学の図書館については、前述のように、私立大学図書館協会による調査が未公表であるため不明である。

なお、学校図書館・専門図書館等の被害状況について取りまとめた資料及び情報は見当たらなかった。